

## 会議録作成支援システムの導入を求める陳情

## 陳情の趣旨

全国市議会議長会の「特色ある議会施設・運営の事例」で紹介されている北海道深川市では「会議録作成支援（音声認識）システム」を導入し、会議録の早期作成を図っています。更に静岡県沼津市では稼働させた「会議録作成支援システム」の機能の拡充・精度の向上を図り、音声認識反訳から会議録版下作成までの一連の作業を議会事務局のパソコンで処理できるシステムに改善し、運用を図っています。

これにより、市民に対して会議録が現在よりも早期に示すことができ、市政決定過程が市民にもっとよく見え、わかりやすく、市民が参画できる議会になるものと考えられます。

より開かれた議会にするための施策の1つとして、逗子市においても「会議録作成支援（音声認識）システム」の導入することを求めます。

以上について陳情いたします。

## 陳情の理由

一般に議会議事録はテープ録音から聞き起こしを行い作成しているため、議会議事録の作成にかかる時間が長くなります。

本陳情は、「会議録作成支援（音声認識）システム」が導入されれば、これにより議会議事録が素早く作成されるようになり、市民に対する情報公開が一層促進される効果が期待されます。議会への市民参加という視点から考えると、より民主的な市政を実現するために、「会議録作成支援（音声認識）システム」の導入を求めます。

平成29年2月13日

住所 〒249-0006  
逗子市逗子7丁目10-17  
くどう じゅんいち  
氏名 工藤 純一

逗子市議会議長 菊池俊一様

